Sonos Voice Control追補条項

最終更新：2026年11月

クイックリンク

1. 本追補条項について

1.1 ステータスと目的

本書は、Sonos Voice Control追補条項（以下「本追補条項」）です。本追補条項は、sonos.com/legal/terms-of-useに掲載されているSonos利用規約、使用許諾および保証契約（以下「基本規約」）の一部を構成します。本追補条項で使用される用語のうち、英語の原文で大文字表記され、かつ本追補条項で定義されていない用語は、基本規約に定める意味を有します。

本追補条項は、2つのサービス形態（Classic Sonos Voice ControlおよびSonos 27voice）で提供されるSonos Voice Control（以下「SVC」）に適用されます。本追補条項は、EU AI法に基づく義務およびその他の法域における法的要件、サービスプランの選択、SVC固有のデータに関する取り決め、SVC固有の知的財産権に関する規定を含む、SVCに特有の追加条件を定めるものです。

重要なお知らせ： Sonos 27voiceは現在、米国に居住するユーザーのみを対象としています。 米国外からSonos 27voiceにアクセスまたは使用することは技術的には可能ですが、他の地域に居住するユーザー向けにサービスが適応されていない場合があり、一部の機能が十分に利用できなかったり、意図したとおりに動作しなかったりする可能性があります。

1.2 ここで対象となる事項、対象とならない事項

本追補条項は基本規約を繰り返し記載するものではありません。 本追補条項で具体的に定められていない事項には、基本規約が適用されます。 特に、以下の事項は基本規約のみに準拠し、変更されることなくSVCに適用されます：保証および免責事項、責任制限、停止および終了、紛争解決、準拠法、譲渡、分離可能性、およびSonosソフトウェアの一般ライセンス。 本追補条項と基本規約が矛盾する場合、本追補条項が優先します。 個人データの取り扱いについて詳しくは、sonos.com/legal/privacyに掲載されているSonosのプライバシーに関する声明をご覧ください。

1.3 承諾

SonosデバイスでSVCを有効にすることにより、お客様は本追補条項に同意したことを確認したことになります。 本追補条項の写しは、sonos.com/legal/svc-addendumでご確認いただけます。

2. 適用資格

2.1 年齢

SVCは18歳以上のユーザーを対象としています。

2.2 アカウントとデバイス

SVCを利用するには、マスター規約に基づいて登録されたSonosアカウントが必要です。 SVCは、最新のファームウェアを搭載した対応Sonosデバイスでのみご利用いただけます。 デバイスのサポート対象が縮小される前に通知されます。 SVCの各階層の選択が、各デバイス個別ではなく、Sonosホーム内のデバイス全体にどのように適用されるかについては、Section 3.1をご覧ください。

3. Classic Sonos Voice ControlとSonos 27voice — 2つのサービス形態

Sonos Voice Controlには、主にお使いのデバイス上で動作するClassic Sonos Voice Control（以下「Classic SVC」）と、クラウド上のAIを活用してお客様の発言内容をより深く理解するSonos 27voiceの2つのバージョンがあります。お客様はお好きな方を選択できます。サービス形態の切り替え方法や、いずれかのサービスをいつでも無効にする方法については、第4条をご参照ください。各バージョンおよびそれぞれのバージョンに含まれる特定の機能の提供状況は、デバイス、ソフトウェアバージョン、地域、言語によって異なる場合があります。Sonosが機能を制限、変更または提供終了する場合、およびその際のお客様への通知方法については、第8条をご参照ください。

AIに関する開示：Sonos 27voiceを使用する際は、AIシステムと対話しています
Sonos 27voiceは人間ではなく、人工知能システムです。 機械学習を使用して、お客様の音声コマンドを解釈し、応答を生成します。

3.1 概要 — 2つのサービス形態とSonosハウスホールドごとの排他的な利用

SVCは、2つのサービス形態で提供されます。Sonosハウスホールド（Sonosアプリに表示される、単一の家庭内でお客様のSonosアカウントに紐づけられた、音声機能に対応するすべてのSonosデバイスを指します）では、同時に有効にできるサービス形態は1つのみです。同一のSonosハウスホールド内で、あるSonosデバイスではClassic SVCを、別のSonosデバイスではSonos 27voiceを同時に利用することはできません。

3.2 Classic Sonos Voice Control — ローカル処理

Classic SVCは、すべての音声コマンドを完全にお使いのSonosデバイス上で処理します。オーディオ、文字起こし、音声データがSonosサーバーやサードパーティーに送信されることはありません。Classic SVCは、再生およびデバイス操作に関する固定のコマンドセットをサポートしています。

3.3 Sonos 27voice — AI支援クラウド処理

既存のお客様が有効化を選択すると、Sonos 27voiceはSonosホーム内のClassic SVCに代わる、新しいオプションのアップグレードです。 Sonos 27voiceの提供方法と有効化方法については、Section 4.1をご覧ください。起動用キーワードによる起動後、音声コマンドは転送中に暗号化され（TLS 1.3をスタンダードとし、最低限のフォールバックはTLS 1.2）、AI処理のためにSonosのクラウドインフラストラクチャに送信されます。 Sonos 27voiceは、Section 3.5に記載された範囲および使用制限に従い、自由形式の質問を含む、Classic SVCよりも幅広いコマンドに応答できます。 Sonos 27voiceは、当初は英語でのみご利用いただけます。 Sonosは将来的にSonos 27voiceを他の言語に拡張する可能性がありますが、拡張を約束または保証するものではありません。

Sonos 27voiceは、自然人であるお客様と直接やり取りし、EU AI法（規則（EU）2024/1689）第50条に基づく義務的な透明性要件の対象となるため、同法において限定的リスクに分類されるAIシステムです。Sonosは、Sonos 27voiceがEU AI法の附属書IIIに定める高リスクAIシステムの分類基準に該当しないと評価しています。これは、Sonos 27voiceが家庭内での個人的な音声操作および娯楽の支援のみを目的として設計されており、附属

書IIIに列挙される安全上重要な機能、生体認証、雇用、教育、または必要不可欠なサービスに関する機能を実行しないことに基づくものです。この評価は、本追補条項およびSonosの公式製品文書に記載されたSonos 27voiceの意図された用途に基づいており、2026年5月に公表された欧州委員会のガイドラインに準拠しています。Sonosは、Sonos 27voiceについて市販後監視体制を維持し、適用されるEU AI法上の義務に従い、重大な不具合またはインシデントを関係する各国の市場監視当局に報告します。

3.4 正確性と人間による制御（Sonos 27voiceのみに適用）

Sonos 27voiceは確率的機械学習を使用しており、コマンドを常に正しく解釈できるとは限りません。 現在のAI技術にはエラーが内在しており、製品の欠陥には該当しません。 Sonosアプリまたはハードウェアのミュートボタンを使って、いつでもSonos 27voiceを無効にできます。

3.5 Sonos 27voiceの自由形式の応答の範囲と制限

Sonos 27voiceは、主にSonosホームオーディオシステムを操作するために設計されています。 自由形式の質問機能は、Sonos 27voiceの追加機能として提供されており、サービスの中核的な目的ではありません。Sonosは、本セクションに記載された理由および方法に従い、自由形式のAI応答の範囲を定義、調整、制限する権利を有します。

3.5.1 Sonosが自由形式の応答を制限する場合の理由

Sonosは、適用される消費者保護法令上、正当な理由として認められる以下のいずれかの理由により、自由形式のAI応答の範囲を制限または調整する場合があります。

- コストおよびインフラストラクチャの管理：自由形式のAI応答の提供には、多大な処理コストがかかります。 Sonosは、サービスが経済的に持続可能であり、すべてのユーザーが利用できる状態を維持するために、合理的な制限を設けることがあります。
- 継続的な利用制限：第3.5.2項に記載されている短期的な利用制限に加え、Sonosは、基盤となるサードパーティーのAIインフラストラクチャにかかる継続的なコストを管理するために必要な場合、自由形式の応答に対して、合理的かつ継続的な利用上限または利用枠（例：1世帯あたりの自由形式の質問回数の上限）を設ける場合があります。
- 品質と正確性：特定の種類の質問は、基盤となるAIモデルが信頼性をもって対応できる範囲を超える場合があります。Sonosは、応答が継続的に不正確または誤解を招くものとなる場合、質問の種類を制限することがあります。
- 法令および規制の遵守：Sonosは、回答を提供することで法的リスク、規制上のリスク、または責任を問われるリスクが生じる質問への応答を制限する場合があります。これには、専門的な助言（医療、法律、金融）を必要とする質問、サードパーティーの専有情報に関する質問、またはサードパーティーの権利を侵害する可能性のあるコンテンツを生成する質問が含まれます。
- 安全性：Sonosは、AIの出力が危害を引き起こす可能性のある状況を評価するため、合理的な措置を講じます。これには、危険な指示の生成、違法行為の助長、または脆弱なユーザーに有害なコンテンツの生成につながる可能性のある質問が含まれます。またSonosは、そのような危害から保護するため、必要に応じて合理的な対応を取ります。
- 不正使用の防止：Sonosは、すべてのユーザーに対するサービス品質を保護するため、個人の家庭での利用にそぐわない方法で異常に大量のAIリクエストを生成するユーザーに対して、自由形式の応答へのアクセスを制限する場合があります。

- AIモデルの利用可能性の喪失または制限：自由形式の応答機能を提供するには、AIパートナーが提供するAIモデルを利用できることが前提となります。 サードパーティーのAIモデルへのアクセスが何らかの理由で失われた場合、または制限された場合、Sonosは自由形式の応答の提供を制限または停止することがあります。
- AIモデルまたはベンダーの変更：Sonosは、コスト、性能、セキュリティ、または事業上の理由などにより、自由形式の応答を提供するために使用する基盤となるサードパーティーのAIモデルまたはベンダーを追加、削除、または変更する場合があります。ただし、自由形式の応答機能が実質的に同等の水準に維持されることを条件とします。

3.5.2 制限の具体的な適用方法

自由形式の応答に対する制御には、次のような形態があり、それぞれSonosが行う必要のある通知の内容が異なります。

- 一時的なスロットリング：Sonosが需要の高まり、インフラストラクチャのメンテナンス、またはAIパートナーのトークン価格の大幅な短期的上昇の期間中に、短期的なレート制限または処理上の制約を適用する場合。 一時的なスロットリングについては事前通知は不要ですが、スロットリングが有効な場合、Sonosはアプリ内でその旨を表示します。 この段落に基づくレート制限または処理上の制約が、短期間で解消されず継続することを意図している場合は、代わりに本Section 3.5.2に基づく継続的な利用上限または割当量として扱われます。
- 一時的な利用不能：自由形式の応答機能が依存するサードパーティーのAIモデルが利用できなくなったことを理由に、Sonosが自由形式のAI応答へのアクセスを一時的に制限または停止する場合。 このような状況では事前通知は不要ですが、Sonosは、そのような措置を講じた場合、アプリ内でその旨を表示することがあります。
- カテゴリー制限：Sonosが、特定のカテゴリーに属する質問（例えば、金融に関する助言を求める質問や、特定のサードパーティーコンテンツに関する質問）への応答を制限または無効にする場合を指します。Sonosは、新たなカテゴリー制限を導入する場合、少なくとも14日前までにアプリ内通知を通じてお客様に通知し、その理由を説明します。
- 継続的な利用上限または割当量：SonosがSection 3.5.1に基づき、自由形式のクエリの数または頻度に継続的な上限または割当量を導入する場合（上記の段落に記載された短期的なスロットリングとは異なります）。 Sonosは、アプリ内通知またはメールで、少なくとも14日前に通知します。
- 機能の構造的な縮小：Sonosが自由形式のAI応答の全体的な範囲またはアクセスを恒久的かつ実質的に縮小する場合。 これはSonos 27voiceに対する重大な変更に該当し、第8.1項に基づき少なくとも30日前の事前通知が必要となります。また、お客様はペナルティなしで本追補条項を終了する権利を有します。

3.5.3 影響を受けない事項

自由形式の応答に対する制限は、Sonos 27voiceの基本的なオーディオ操作機能（基本的な再生、音量調整、グループ化、アラーム、デバイス管理）には影響しません。 Sonosが自由形式の応答を制限した場合でも、Sonos 27voiceの基本的な再生および操作機能は、制限なく引き続き動作します。 自由形式の応答の解釈に使用される同じサードパーティーのAIモデルに依存する、一部の複雑または抽象的な再生リクエスト（たとえば、アルバム名ではなくジャケットの説明からアルバムを特定するリクエスト）は、

他の自由形式の応答と同様に影響を受ける場合があります；名前、アーティスト名、または明示的なコマンドによる基本的な再生には影響しません。 改定後の範囲でSonos 27voiceを引き続き利用することを希望しない場合、第4.4条に基づき、いつでもClassic SVCに戻すことができます。

3.5.4 EU消費者法に基づく保護

本条に定める制限に関する権利は、誠実に、かつ第3.5.1項に定める正当な理由がある場合に限り行使されます。これらの権利は、適用されるEU消費者法に基づくお客様の法定の権利に影響を及ぼすものではありません。Sonosが機能の構造的な縮小（第3.5.2項）を実施する場合、お客様は本追補条項を終了する権利を有します。Sonosは、お客様がデータ主体としての権利やその他の法的権利を行使したことに対する制裁として、制限に関する権利を行使することはありません。

3.6 AI生成コンテンツの識別表示（Sonos 27voiceのみに適用）

Sonos 27voiceはAIで合成した音声による応答を生成します。EU AI法第50条第2項および関連するAI生成コンテンツのマーキングとラベリングに関する行動規範に従い、Sonosは、Sonos 27voiceの音声出力がAIによって生成されたものとして識別できるよう、機械可読形式の識別表示を実装します。この識別表示は、適用される技術標準の策定状況に応じて、当該標準に準拠した方法で埋め込まれます。Sonos 27voiceは、特定の実在する人物の明示的な同意を得ることなく、その人物の声を模倣することを目的とした音声コンテンツを生成することはありません。

4. アップグレード、試用、および元に戻すこと

4.1 初期設定

既存のSVCユーザーはClassic SVCを利用しています。 Classic SVC機能を備えたSonosデバイスを使用している既存のSVCユーザーについては、Sonos 27voiceはオプトイン方式でのみ提供されます。 Sonosは、お客様をSonos 27voiceに自動的に移行しません。 新しいSonosデバイスを設定する場合、設定中にSonos 27voiceを有効にするオプションが表示されます。 Sonos 27voiceは、設定中に明示的に選択しない限り、有効になりません。

4.2 Classic SVCからSonos 27voiceへのアップグレード方法

Classic SVC機能を備えたSonosデバイスを使用している既存のSVCユーザーは、SonosアプリからSonos 27voiceにアップグレードできます。 確認の前に、Sonosは以下を表示します：(a) Sonos 27voiceとClassic SVCの違い；(b) 収集される個人データの概要と、Sonosのプライバシーに関する声明へのリンク；(c) 本追加条項への同意を求めるメッセージ。 アップグレードには明示的な確認操作が必要で、確認が行われるまで完了しません。

4.3 Sonos 27voiceを試す

Sonos 27voiceを有効にした時点から、起動用キーワードの検知後の音声コマンドは、処理のためにSonosのクラウドインフラストラクチャに送信されます。

4.4 Sonos 27voiceとSVC Classicの切り替え

お使いのSonosデバイスがClassic SVC機能をサポートしている場合、いつでも何度でもSonos 27voiceとClassic SVCを切り替えることができます。 Sonos 27voiceからClassic SVCに戻す処理は即座に行われます。クラウド処理は停止し、それ以降の音声データがSonosデバイスの外部に送信されることはありません。 元に戻す操作は無料で、回数制限はありません。 Classic SVCに切り替えるこの権利は、新規ユーザーか既存のSVCユーザーかを問わず等しく適用されます。お使いのSonosデバイスがSonos 27voiceで設定されている場合でも、Sonosアプリからいつでも SVC Classicに切り替えたり、いずれかのサービス層をアンインストールしたりすることができます。

4.5 切り替えによって取り消されない事項

Sonos 27voiceからSVC Classicに切り替えると、今後のクラウド処理は直ちに停止しますが、Sonos 27voiceの使用中にすでに収集されたデータが遡って削除されることはありません。 これらは、Sonosプライバシーに関する声明に定められた保存期間に従って削除されるか、privacy@sonos.comへの依頼により削除されます。 切り替えても、Sonosアカウントやデバイスの設定には影響しません。

5. SVC固有のデータに関する確約

SVCの提供に関連してSonosが個人データをどのように処理するかについての詳細は、Sonosのプライバシーに関する声明をご覧ください。

6. 許可される使用と禁止される使用

6.1 許可される利用

お客様は、合法的な個人利用かつ非商用の家庭内利用に限りSVCを使用できます。「個人的かつ非商用の利用」には、SVCを第三者に提供する商用サービスの一環として使用しないことを条件として、自宅のオフィスでの付随的な利用も含まれます。お客様が第三者に賃貸する物件でSVCを使用する場合は、Sonosから別途商用ライセンスを取得する必要があります。

6.2 禁止される用途

SVCを以下の目的で使用することはできません。

- 違法な活動に関与する
- 起動用キーワードの検知を回避しようとすること、またはAIの透明性に関する機能を無効にすること
- Sonos 27voiceのAIモデル、モデルの重み、または処理パイプラインをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、もしくは抽出すること
- 第三者の明示的な書面による同意を得ることなく、その第三者の声を複製、合成、または模倣すること
- 声、肖像、または身元が関係するすべての人物の明示的な同意を得ることなく、性的に露骨な音声コンテンツまたは性的に親密な音声コンテンツを生成したり、その生成を助長したりすること
- 医療機器、車両、産業機器など、安全性が極めて重要なシステムでSVCを使用する
- Sonosから別途商用ライセンスを取得することなく、SVCを商用目的で運用すること

- 禁止されている種類のコンテンツを生成させることや、専有のモデル情報を抽出することを目的とした入力の作成を含め、プロンプトインジェクション攻撃、敵対的入力手法、ジェイルブレイク、またはSonos 27voiceの安全性フィルターやコンテンツ制限を回避するための組織的・体系的な試みを行うこと

7. 知的財産

7.1 Sonosの所有権

AIモデルおよび重み、音声認識コンポーネント、ソフトウェア、ファームウェア、アルゴリズム、企業秘密など、SVCにおけるすべての知的財産権は、Sonosが所有するか、またはSonosにライセンス供与されています。 SVCの一般的なソフトウェアライセンスは、基本規約に基づいて付与されます。 本追補条項は、Sonos 27voiceに関する当該ライセンスを以下のように補足します：

- Classic SVC：お客様の使用が許可されたSonosデバイスにインストールされたオンデバイス版Classic SVCソフトウェア（オブジェクトコードのみ）を使用するためのライセンス。
- Sonos 27voice：アカウントが有効な状態を維持していることを条件に、お客様の使用が許可されたSonosデバイスを通じてSonos 27voiceクラウドサービスにアクセスし、使用するためのライセンス

基本規約または本追補条項に対する重大な違反があった場合、両ライセンスは直ちに取り消すことができます。

7.2 AIトレーニングデータ

Sonosは、SVCの音声録音を自社またはサードパーティーのAIモデルのトレーニングに使用しません。

7.3 AI生成物

Sonos 27voiceはAIを使用して応答を生成します。 人間が作成した要素を一切含まない純粋なAI生成物は、現行法の下では著作権による保護を受けないか、受けるとしても限定的です。 SonosはSonos 27voiceの出力について著作権を主張しませんが、出力にサードパーティーの知的財産権が含まれないことを表明するものではありません。 Sonos 27voiceの出力の使用が適用される法律に準拠しているかどうかを評価する責任は、お客様にあります。

7.4 フィードバック

お客様がSVCに関して（あらゆるチャネルを通じて）送信したフィードバックは、適用法で認められる最長期間にわたり、SVCおよびその他のSonos製品の改善に使用するため、全世界を対象に、取消不能かつ無償でSonosにライセンスされます。 このライセンスは、お客様の個人データに関する権利に影響を及ぼすものではなく、当該権利は引き続きプライバシーに関する声明に準拠します。

7.5 知的財産権の侵害に関する報告

SVCコンテンツにおける知的財産権侵害を報告する場合、または許可なくご自身の著作物がSonos 27voiceのトレーニングに使用された可能性をSonosに通知する場合は、ip-claims@sonos.comまでご連絡ください。

8. SVCおよび本追補の変更

8.1 SVCの変更

Classic SVC、Sonos 27voice、およびそれぞれに含まれる特定の機能の提供は保証されず、デバイス、ハードウェアの世代、ソフトウェアバージョン、地域、または言語によって異なる場合があります。 Sonosは、第8条の通知に関する規定に従い、技術的な制約、製品またはハードウェアの制限、ソフトウェアの不具合、サイバーセキュリティ上のリスクへの対応に必要な場合を含め、Classic SVC、Sonos 27voice、またはいずれかの機能を制限、変更、または提供終了することがあります。

SVCの機能を低下させる重大な変更について、Sonosはアプリ内通知またはメールで、少なくとも30日前に通知します。 そのような変更は、正当な理由がある場合に限り実施します。 そのような状況では、お客様はペナルティなしで本追補条項を終了する権利を有します。 本追補条項を終了した場合、スピーカーは引き続き使用できますが、音声コマンド機能は利用できません。 Sonos 27voiceにおける自由形式のAI応答の範囲に関する変更には、Section 3.5のみが適用されます。

8.2 本追補条項の変更

重大な変更（お客様の権利を縮小する、新たな義務を追加する、またはSVCを大幅に変更する変更）については、Sonosは少なくとも30日前に通知し、アプリ内でお客様に明示的な確認を求める場合があります。 確認しない場合、変更後の条件の発効日までは従前の追補条項に基づいてSVCを引き続き使用できますが、その日以降、Sonosはお客様のSVCを無効にする場合があります。 実質的でない変更（誤植の修正、連絡先情報の更新、実質的な変更を伴わない明確化）については、Sonosは通知を行い、実質的でない更新に限り、その更新日から効力を生じます。 法律により求められる変更は、直ちに効力を生じる場合があります。

9. SVCにおける先行アクセス機能

9.1 適用

Sonosは、該当する製品ページ、Sonosアプリ、および/または付属のマーケティング資料においてそのように指定されている特定のSVC関連の機能または音声機能を、一般公開に先立って「先行アクセス」としてお客様に提供することがあります（以下「先行アクセス機能」）。お客様による当該先行アクセス機能のご利用には、Sonos先行アクセス利用規約（sonos.com/legal/early-access-terms）が適用され、同規約は参照により本追補条項に組み込まれます。先行アクセス機能の利用を希望される場合は、Sonos先行アクセス利用規約に記載されているとおり当該先行アクセス機能にオプトインする必要がありますが、オプトインする義務はなく、オプトインしないことを選択しても、その他のSVCのご利用に影響はありません。Sonosは、アクセスを許可するユーザー数を制限する場合があります。

9.2 第8条との関係

SVCに関連する機能が先行アクセス機能として指定されている間は、上記の第8.1項において、一般公開済みの "SVC" の一部とはみなされず、当該先行アクセス機能の変更、制限、一時停止、または提供終了には、第8.1項の30日前の事前通知制度は適用されません。 その代わり、先行アクセス機能の変更には、Sonos先行アクセス利用規約が適用されます。 先行アクセス機能がClassic SVCまたはSonos 27voiceの一部として一般公開されると、第8.1項および第8.2項は、一般公開日以降、将来に向けて適用されます。

9.3 優先適用関係 — どの条項が、どの範囲で置き換えられるか

本第9.3項では、先行アクセス機能に関して、Sonos先行アクセス利用規約によって影響を受ける基本規約および追補条項の規定を要約します。 以下に記載されていない事項は、置き換えられることなく、引き続き全面的に適用されます。

- **保証および責任の制限（基本規約）。一部置き換え —** 先行アクセス機能には、基本規約に定める標準的な保証および責任上限に代わり、先行アクセス規約に定める「現状有姿」の免責条項および責任上限が適用されます。
- **第8.1項 変更通知要件（本追補条項）。先行アクセス期間中に限り適用除外 —** SVCに関連する機能については、先行アクセス機能として提供されている間は、機能を低下させる変更に関する30日前の通知要件は適用されません。当該機能が一般公開されると、この通知要件が適用されるようになります。
- **その他すべて。置き換えなし —** 紛争解決および準拠法、EU消費者法による保護、ならびにフィードバック条項を含め（これらに限定されません）、基本規約および本追補条項のその他すべての規定は引き続き全面的に適用されます。